

令和4年度 第9回

日南市教育委員会

会議録

令和4年12月22日(木) 午後4時から
日南市役所・プレハブ会議室（北302号室）

- 1 会議の名称 令和4年度教育委員会 第9回会議（定例）
- 2 会議日時 令和4年12月22日（木）
午後4時から午後4時55分まで
- 3 出欠確認
 - （1）出席委員 都甲政文 郷谷純一 別府信一、八木真紀子
 - （2）事務局 教育部長兼学校教育課長
学校教育課学校教育担当監
生涯学習課課長
学校教育課課長補佐兼教育係長
学校教育課管理係長
学校教育課管理係主査
- 4 場所 日南市役所・プレハブ会議室（北302号室）
- 5 傍聴者 0名
- 6 開会
【都甲教育長】
「それでは、令和4年度第9回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。本日は黒木委員がお休みでございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【田中部長】
「事務局は、全員出席です。」
- 8 活動報告
 - （1）教育長活動報告

【都甲教育長】
・11月25日、第2回日南市官公庁連絡協議会がございました。これは国とか県の出先機

関の所属長が集まる会で、年2回あるんですけど、今回私の方に卓話ってですね、ちょっと話をしてくれってというのが当番で回ってますけど、それが回ってきまして、制服を変えるってことと、レインボープランについて話をしました。感触としてなかなか官公庁の職長さんにはあんまり興味なかったのかなと思ひまして。皆さんお子さんがもう大きいですからね、伝えながら思ったところです。

・11月26日、小村寿太郎侯墓前祭がございました。雨の中だったんですけど、郷谷委員と一緒にですね行かせていただきました。ちょうどその日はですね、国際塾の子ども達5名が東京に行っておりまして、東京奉賛会の方々と一緒にですね、青山墓地に同じ日にお墓参りに行ったみたいで、宮日にもそういう記事が出てました。

・同日、算数エンタを開催しました。3年ぶりやったんですけど宮崎大学の学生が30数人来まして、子ども達に算数とかの楽しさを教える催しなんですけども、子どもたちが全体で30人ぐらい来たみたいですね、非常に楽しんでやりました。

・11月30日、退任民生委員・児童委員及び主任児童委員の感謝状伝達式、昼食会がございました。子どもたちも非常にお世話になる方々で、今回49名の方が退任されました。短い方で3年、長い方では20年ほどですね、地域に貢献されたということでした。

・12月1日、2日、2日間にわたってですね、教育事務所と校長と我々教育委員会3者によるヒアリングがありました。事務所は校長から異動対象者、異動希望者についての意見を聴取して帰りました。

・12月3日退職校長会の冬季研修会がございました。これも3年ぶりに開催されました。20名程度の参加であったんですけども、私市長に代わって挨拶をさせていただきました。

・12月5日、校長会を開催しました。今月からですね、3月末に退職する校長今回多いもんですから、それぞれ自分の思いを語ってもらおうと思ってですね、油津小の津江校長と飢肥中の宇都宮校長にですね話をしてもらったんですけども、何と2人は日向高校同窓生でありまして、非常にいいスピーチをしてくれました。あとの人たちがハードルが上がったと言っていました。

・12月11日、令和4年度第11回日南市文化フェスティバルがございました。3年ぶりの今回は入場制限なしで開催でした。今回はですね、子ども1日協会長さんが小学生中学生ですね、この2人の開会宣言があったり、あと子ども理事っていうのをですね何か募っておられて、その子たちが運営の手伝いもしました。その子達も途中で紹介があってですね、子どもたちも関わらせていただいととても盛況でしたし、そういう意味じゃ、何か微笑ましい感じもありました。

・12月14日、行事視察で南郷中に行きました。1年生3年生のレインボープランの授業を視察したんですけども、1年生はSNSについて、3年生はDVについてでしたけども、子どもたちがやっぱ真剣にですね聞いてまして、いろいろ意見を言ってですね、中学生の段階でのDV授業ってのもなかなかいいなあ、斬新だなと思ってですね、感心したところでした。

・12月17日宮崎県の市町村対抗駅伝競走大会出場結団式がございました。市長と私で参加させてもらったんですけども、9つ都市があってですね、なかなか5位の壁が破れずにいてですね、5番目って市長から何とかそれ以上頑張るとと激励してました。

・12月19日、単独訪問を行いました。これ今年最後ですね、全部のいろんな学校も最後だったんですけども、東郷小中に行かしていただきました。小中学校ですので、いろんな話題も豊富だったんですけども、あとで八木委員も行かれたので、ご感想ありましたらお願いします。

・12月21日、都城の教育委員会との意見交換会を行いました。今、コミュニティスクールに取り組んで10年ということですね、各学校とやっぱ地域もですね、地域とともに子どもを育てていくという土壌が固まってきたのかなあというふうに見えたところでした。今日、向こうの教育長にお礼の電話をかけたんですけども、やっところ2～3年で固まってきたということで、学校そういう取り組んでいく中で、そういう委員さんもなかなか変わらないんですよ。そこに新しい校長が飛び込んでくるわけですよ。だからその校長としては、やっぱりパツと入って、地域のこと事情わかって、そして自分の学校経営のビジョンとか出していく中で、もう都城来たらそういう方法でやるんだよってことを言っていて、それで大分固まってきたということでした。日南もですね、何とかああいう形でやればなんと。私が何回も言ったように、WinWinの関係ですね、子どもたちがもっともっと地域に出て行く関係を作ないと長続きはしないのかなっていうのもあるもんですから、考えたところでした。また後で皆さんも感想をお願いします。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

昨日の都城市の教育委員会との意見交換会の件でご報告させていただきます。本当にコミュニティスクールは全国に先駆けで10年前からされているというだけあって各学校での取り組みっていうのが一つ一つやっぱりもう際立ってたなというところですよ。で、一番やっぱり印象に残ったのが、その事例集を作ったりとかホームページから抜粋をしてそれを各学校にフィードバックしてるっていうのが、今回のそのやっぱり成功の一つの秘訣なのかなと思ったところです。

本当参考になりましたし、自分もまちづくり等々にもちょっと関わっていますので、またいろいろ参考にさせていただきました。ありがとうございました。

【八木委員】

私の方は12月の19日に東郷小中学校へ行かせていただきました。

小中一貫校の特徴を生かした9年間、小、中学校の先生が連携して、子どもたちを見守る長所っていうかな、ことのよさをすごい感じて、8名の先生たちが語られたんですけども、その熱い思いという感、とてもすばらしい学校だということが強調されてよか

ったなと思います。授業改善とか ICT の活用の主題研究にも取り組まれていましたし、スクールワイド PBS 等、道徳科関係を推進されて、自己肯定感を高められるように育成されていたと思います。また、ふるさと愛する、大切に作る心ってということで地域の連携もとてもいい学校だなと感じました。

それから昨日の視察は、今別府委員が言われたんですけど私も同じように、大変勉強になりました。学校に、地域は何ができるか地域は学校に何ができるかと WinWin の関係で持続可能な形で、あとウィズコロナ後のことまで時代に対応するという、その未来につなげる考え方本当に大事だと思いました。たくさん資料を用意してくださった中でやっぱり報告書これ持ってきてますけど、これでみんなで共有できる状況でできること、とても大事だなと思います。ホームページの活用についても同じです。

小中一貫校の育成の教科もはいつてたんですね。ちょうど東郷小中学校に行っても、本当に小中一貫校推進っていうのは大事なのかなと、これからの時代やっぱり考えていただけてないと思う。また、ちょっと読んでないんですけどしっかりやっていきたいと思っています。

【郷谷委員】

私も昨日都城に行かせていただいてですね、やはり勉強になりました。

別府・八木委員がおっしゃったようなことで本当に立派な取り組みされてるなというふうに感心したんですが、昨日の資料にありました、全国学力学習状況調査のところがグラフにしてあったんですけど、経年変化を見て、中学3年生対象でしたかね、都城市においては、県よりも、或いは他のところ、国よりもですね右肩上がりに待っていたので、すごいなというふうに思って、こういう取り組みが子どもたちの学習意欲その他にですね、大きくやっぱ影響与えているんじゃないかというふうな印象を持ちまして、すごいことだなというふうに思っておりましたし、やっぱし学校だけではなくて、地域の方々の協力がいかに大事かということを感じさせられました。

【都甲教育長】

本当に良い参考になったのですね、やっぱりやっていきたいですね、都城はですね、1市4町が一緒になったので、なかなか全体でまとまっていくってなかなか厳しいような感じもあってですね、それもあってこのコミュニティスクールってのはいいのかなと。昔の旧市町村に凝り固まるわけではないんだけど、やっぱりエリアで絞ってやっていく。旧例えば高崎とか旧山田とかいう形でなんかやってましたよね、取り組みをですね、あんな形もいいのかなと思ってですね。日南で言えば北郷南郷がありますよね。

9 前回の議事録承認

第8回の議事録について了承

10 議事について

議事1 令和5年度教育基本方針について

(藤岡担当監)	令和5年度教育基本方針について説明。
(郷谷委員)	この人材バンクの登録はですよ、そういういろんな才能を持っていらっしゃる方は、自分から登録するんですか。
(長本課長)	人材バンクっていう制度はそういった人より長けた能力を活用して、自分も勉強していく制度なんですけど、それ自体の登録は自ら自分はこのことができるかと申告をしていただければですね、登録するというだけで、あとそれを使うかは市民の方々の選択肢になるんですね。僕はベースボールが上手く指導できるよっていうならば、それを少年野球のクラブの人が使えばです。あとはもう選択肢になるので、そういった人材バンク、結構多いのが生涯学習講座で学んで、その特技を身につけたので人材バンクに登録して学んだことを伝えていきたいという意思の方がここ結構います。
(郷谷委員)	誰かが推薦してこうされるわけじゃないわけですね。
(長本課長)	最近は若い子たちがセラピーの技術持っているので、そういうので活用できれば例えば人材バンク登録していただければ、利用者がひよっとしているかもしれない。
(都甲教育長)	結局さっき出たのは、以前は予備校に派遣していたのがあって、あれをなくして今度は各学校にそういう講演会なんかするときの補助みたいな形をしていきたいなということですね。どうしても以前の場合だと、予備校派遣になると進捗があんまりなかったわけですよ。それ考えると、ある意味平等というか、どうしても進捗がですね、そういう対象の子はいなかったからですね。日南高校と学園だけだったので、改めて各学校に参考についてということですね。
(八木委員)	日南高校は独自で行ってましたね。宮崎の予備校とか。ひよっとしたらもうそれでカバーできるかなと私も思っています。
(都甲教育長)	子どもの生徒達がなんていうかね、将来見据えた何か勉強になるようにですね。あと、夏の色んな塾なんかですね、ああいう子ども達が来るやつはですね、はっきり言って前教育長がおっしゃってたのは、先生達が関わることも自分としては目的なんだと。というのは、先生達が関わることによって先生の素質向上もあるんだけどっておっしゃったんですよ。でも、始まった当時からすると、今働き

	方改革がぐっと出まして結局夏休み中とかなんですよね。先生がそれを考えてやはり外部講師でちゃんと考える。もうそっちにお願いした方がいいのかなということを考えてこういう形にさせていただいたと。当初始まったときからはちょっと変わってきたんですけど、段々とか現状に合わせながらマイナーチェンジしていきながら、子ども達には残すものを残すというということで今回はこういった形にさせていただきます。
(八木委員)	5 ページの上の 2 つは事業名とかはないんですね。事業名があるものとなないものがありますが。ICT の支援員、何かサポート事業とか、そういうのが例えばあるのか。
(都甲教育長)	事業名がないのは、予算配分していないってことですね。結局これは取組みってことですね。

1 1 報告について

報告 1 市議会定例会報告について（12 月議会）

(田中部長)	市議会定例会報告（12 月議会）について説明
(都甲教育長)	今回、こういうやりとり本会議でしましてですね、似たような結構ご質問があつてですね、だんだん質問が深まってしまつてですね、ちょっと大変だったんですけど。
(別府委員)	今まで皆さんなんか不登校に関する質問が結構多いような形だったっていう。
(都甲教育長)	調査結果が出たのもあつたりですね、24 万人とかね。そういうのもあつて出たのかなと。 実際うちも増えてきているのですが、今後、この機会確保法っていうのは、その中にですね子ども達にその休養、休みが必要だっていうわけですよ、登校だけでなく休養も。だから学校復帰だけじゃないんじゃないかということで、いろんな学びの場があるよねっていうことになってるんですよ。 以前に比べたら登校の促しってのは減ったんですよ。以前は担任の先生によっては学級の全員を連れて引き連れてですね、その子のところに行つて行こうやとかね、そうことをやったりとかしてましたね。 そのアクションプランの中にもたぶん書いてあると思うんですけど、しっかり保護者とか本人の意見を聞きながら登校刺激をしな

	いってくれとかですね、ということがやっぱり今あるんですよね。だからといってほったらかしにはしないっていうそれもあるって、今回の適用指導教室もあります。うちでいえば黒潮教室のあり方とかですね、どうしていくのかということが結構出ましてね。 今年度になって1人支援を増やした状況があっただいぶそこは改善されてきたんですけど、今回出たのは、それを今半日ですので1日できないとか、そこら辺はどう考えてるっていうことを聞く議員もありました。今後ですね、やっていかなきゃいけないのかということですね。
(別府委員)	口腔ケア、これエピペンのことですか。
(都甲教育長)	結局、口の中に入れる錠剤ですね。てんかん薬みたいな。
(別府委員)	ブコラムは学校にはあるんですか。それとも要望というか。
(田中部長)	子どもがそのてんかんの病気があると持っていて、それを学校に預けるといって学校でもしてもいいよという親と先生達の了解が得られたら使える。
(都甲教育長)	エピペンと一緒にですね。実際そのてんかんの薬を持ってる子もいるんですけど、市内ではそれで発作を起こしたってのはまだ聞いてないですよ。ちゃんと薬を飲んでるんだよね、大事なことですからね、毎日しっかり飲むんですよ。
(別府委員)	エピペンの場合って何か保管する場所が何か必要、冷蔵庫とか学校がもしそういった要望があったら学校の方でそれを買わなきゃいけないという形になるんですか。
(藤岡担当監)	冷蔵庫でできるし、ランドセル管理とか担任が預かったりとかいろいろありますね。
(都甲教育長)	結局関係者がそれをちゃんとわかるようにしてるわけね。
(藤岡担当監)	遠足とかのときに忘れないようにしてくださいっていう。
(八木委員)	宮崎市とかフリースクールもいっぱい種類があって充実していると思うんですけど、まだ日南の場合は1つということですね。
(都甲教育長)	そうなんですよ。今後そこをどうしていくのか、大分そこが調整していく必要があるのかなとか、出席扱いってのができていないんですよ。いろいろなものを見ると、割と出席扱いするためにはハードル高いんですよ。学校を変えないことをやる必要だとか、たまには対面で会わなきゃいけないということです。
	最終的には校長が出席という判断をするんですけど、その、休養っていう面もありますけど、やっぱり私は最後の議員に答えたいんですけど、やはり前向きな考えでいてくれないとなかなか難しいです

よね、そのためにはやっぱりケアをしていながらその状態に持っていくのも流れですよって話はしたんですよ。もうとにかくやっぱりそれぞれで違うので、対応が。それを今回強調したいですね。だからアクションプランがあるからその通りやってるんでしょみたいなことがあったんですけど、いや、それはあくまでそれであって、個別対応でいってますっていうことですよね。なんかこう皆が皆同じじゃないからですよ。

また、それについては機会があったら話題にしたいと思います。

1 2 その他

(1) 1月行事予定について

(2) 第10回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 令和5年1月26日（木） 午後3時から
- ② 場所 南郷ハートフルセンター生涯学習館2階学習室

(3) 日南市教育委員会表彰式

- ① 日時 令和5年2月24日（金）午後4時20分から（調整中）
- ② 場所 小村寿太郎記念館

1 3 閉会